



病む人の立場に立って

安全でより質の高い医療を提供します



【名古屋市中区/名城公園】

基本方針

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 病める人の尊厳と権利を守る医療の推進 | 4 拠点病院としての役割の強化 |
| 2 地域医療機関との連携と役割分担 | 5 研修・教育・研究の推進 |
| 3 高度医療の実践と救急医療の充実 | 6 安定した医療を提供する基盤の確立 |

患者さんの権利

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ○個人の人格を尊重した診療を受ける権利 | ○納得のいく説明を受ける権利 |
| ○信頼に基づく医療を受ける権利 | ○診療録の開示を求める権利 |
| ○個人情報保護の権利 | ○検査・治療法などの選択あるいは拒否をする権利 |
| ○診療情報提供を受ける権利 | |

お願い

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ○病気に関する正確な情報を医療者（医師・看護師等）にお伝え下さい。 | ○災害時あらゆる危険から回避するため、職員との連携にご協力をお願いいたします。 |
|-----------------------------------|---|

もくじ

巻頭言	2	医療最前線	6
ドクターよもやま話	3	連携医紹介	7
新任医師・研修医紹介	4・5	外来診療担当表	8

巻頭 言



臨床研究センター長
堀部 敬三

臨床研究の法規制

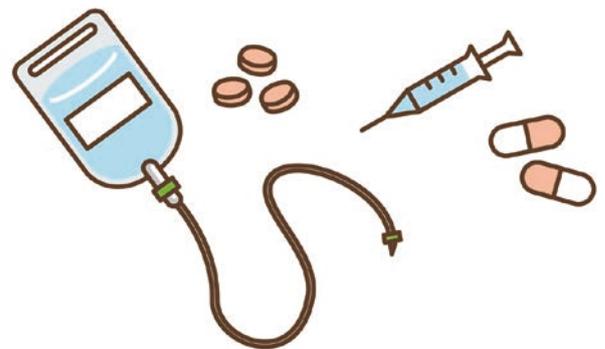


この4月に臨床研究法が施行されました。「今まで法律がなかったの?」「研究が法律で規制される必要があるの?」などさまざまな声が聞こえそうですが、臨床研究は人を対象とした研究であり、研究結果は病気の診断や治療に際して科学的根拠となるものであり、信頼性が確保されなければなりません。医薬品等の製造販売の国の承認を得るための臨床試験(治験)は、従来より「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法)に基づいて厳格に実施されていますが、市販後医薬品等を使って治療の最適化を図る臨床試験など治験以外の臨床研究は、これまで倫理指針に基づいて行われてきました。しかし、ディオバン事件に代表される臨床研究の不適正事案が相次いで発覚したことを受けて、再発防止策として法規制されることになりました。ディオバン事件で多額の寄付金が研究機関に提供されていたことを受けて、製薬企業などから研究者への資金の流れの透明化も図られました。臨床研究の法規制については、欧米では、少なくとも未承認薬や適応外薬を対象とした臨床研究は治験であるか否かを問わず同じ法律で規制されており、治験以外の臨床研究について法整備がなかったのは

日本だけでした。しかし、今回、法制化されたものの、治験と臨床研究が異なる法律で規制されることになり、欧米に比べて複雑な規制になったことは否めません。

法規制導入の効果として、被験者保護・研究の質の確保を通じた臨床研究の信頼回復だけでなく、適切な産学連携を通じた医学系研究の発展や先進的な医薬品・医療機器等の開発、ひいては患者・国民の健康寿命延伸に資することが期待されています。ピンチをチャンスととらえれば、臨床研究法の下で、製薬企業などが堂々と臨床研究を支援することが認められることになったことで公明正大に産学共同の臨床研究が可能になったと言えます。また、臨床研究法を遵守して実施された臨床研究の成果が、一定の条件の下で承認申請や公表臨床研究として再審査申請などで活用される可能性もあることから、小児・希少疾病領域の医薬品開発や適応追加など、治験による開発が困難ながらニーズが高い医薬品等について、今回導入された特定臨床研究の枠組みを利用して開発する道が開かれたとも言えます。このような観点から、倫理性、科学性、信頼性を担保しながら特定臨床研究の枠組みを前向きに活かしていくことで医療現場のアンメット・ニーズに応えることが可能になると考えています。

名古屋医療センターは国立病院機構142病院を代表して臨床研究中核病院を目指しており、国の健康・医療戦略にある国民に世界最高水準の医療提供に資するため最前線に立って臨床研究を進めています。臨床研究は、患者さんの協力なしに実施できません。今後とも臨床研究にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



ドクター よもやま話

国立病院機構の 電子災害診療記録システム （「災害時テンプレート」）の 導入につきまして



医療情報管理部長
整形外科医長
佐藤 智太郎



平成23年3月11日の「東日本大震災」から早くも7年が経ちました。この大災害の際には、「腎臓透析の必要な患者さんの行方」と「血液透析機（ダイアライザー）や使用する水の所在」に関する情報がいずれも十分に収集できず、多くの腎不全の方々の治療が困難となった事例が後日報告されました。

災害のときには、「患者さんがどこにいるか」「使える治療器具や薬品がどこにあるか」「被災地のどこへ救援の医療従事者を送るか」などの情報を迅速に集めることが重要ですが、この情報収集に関して、産業医科大学（福岡県）の久保達彦医師（公衆衛生学）が多くの学会の意見をまとめて作成したのが、J-SPEED（日本版災害時診療概況報告システム）です。

これは、平成28年4月14日の熊本地震の際に実際に使用され、「必要な患者さんに、必要な医療援助をタイムリーに届ける」のに大きく貢献しました。

あれから2年たった、今年3月に国立病院機構142病院中の56病院にJ-SPEEDを基盤とし、電子化された「災害時テンプレート」（図、チェックリスト形式）が導入されました。災害発生時に当院スタッフがこのチェックリストに「性別、年齢、妊娠の有無、人工透析ニーズ、精神的ストレス、など」を素早く記載すると、オンラインで国立病院機構本部に送信されます。

これにより、大規模災害のときも、被災された患者さんの状況を、素早く国や県レベルの災害対策本部に報告でき、全国から応援に来る医師や看護師などの医療関係者をはじめ、国立病院機構の派遣診療班や日本DMAT（災害派遣医療チーム）、日本赤十字社などの援助チームにも正確な指示を出して頂けるようになることが期待されます。

災害拠点病院である当院は、他の病院や、行政・消防・警察等と連携できるように日頃から訓練を重ねており、実際の災害発生時にはスタッフが全力で診療にあたりますが、チェックリストに基づいて質問させていただく際にはご協力をよろしくお願いいたします。



図：災害時テンプレート（J-SPEED+ 標準データ）

新任紹介

医師



泌尿器科医長 吉野 能

名大病院から当院泌尿器科に赴任いたしました。腎・尿路生殖器がん治療、ロボット・腹腔鏡手術を専門としています。ランニング(トレイルラン、医療支援走含む)が趣味で、院内外の職場環境も大変気に入っています。よろしくお願いいたします。



集中治療科医師 荒川 立郎

この度集中治療科で働くことになりました荒川立郎と申します。山口県下関市出身で名古屋市内勤務は初めてであり諸先生方をはじめ、関係各位の皆様のお力添えを賜りまして日々努力を積み重ねて参りたいと存じます。何卒よろしくお願いいたします。



消化器科医師 恒川 卓也

刈谷豊田総合病院で5年間研修し、4月より消化器内科として赴任しました。お役に立てるよう日々精進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



麻酔科医師 山口 慧太郎

4月から麻酔科に赴任しました山口慧太郎と申します。慣れない事も多くご迷惑をお掛けする事もあるかと思いますが、精一杯頑張っております。よろしくお願いいたします。



小児科医師 小野 学

この度小児科に赴任しました、小野学と申します。この3年間は、あいち小児保健医療総合センターのアレルギー科で研修を行っていました。これからよろしくお願いいたします。



血液内科医師 川口 佳乃

4月より血液内科に着任いたしました。長崎で2年、名古屋で1年研修をしてきました。ご迷惑をおかけいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



病理診断科医長 西村 理恵子

当院と同じ国立病院機構の四国がんセンターに17年間勤めていました。専門分野は乳腺病理で、12年前から当院病理診断科の市原先生と共同研究を行ってきました。こちらでも、特に乳腺病理分野で貢献できればよいと考えています。前任地はがん専門病院ですので、不慣れな分野もありますが、努力して克服します。また、前任地は臨床医と病理医の間の垣根が低く、お互いが高めあう環境でしたので、当院でもそのような関係を作れるとよいと考えています。よろしくお願いいたします。



循環器科医師 上村 佳大

はじめまして。循環器科の上村佳大と申します。皆様のお役に立てるよう精一杯頑張っております。今後ともよろしくお願いいたします。



血液内科医師 平野 大希

4月から赴任しました。ここ3年間は大学院で血液腫瘍の基礎研究に邁進してきました。研究から学んだことを患者様に還元できるように努力していきます。診療では多くの先生方、コメディカルの方に助けていただく場面が多いと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



外科医師 宇田 裕聡

名大病院より赴任いたしました。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



神経内科医師 瀧田 亘

4月から神経内科に勤務しています瀧田亘と申します。皆様よろしくお願いいたします。

専修医



内科総合専修医 久賀 孝郎

初めまして、前任の中部労災病院で呼吸器内科をしておりましたが、現在は藤田保健衛生大学の家庭医療プログラムに所属し、4月から総合内科で研修をさせていただいております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



脳神経外科医師 大多和 賢登

4月より赴任いたしました脳神経外科の大多和賢登(おたわまさと)と申します。赴任早々に、患者数が多く驚いております。微力ではありますが、名古屋医療センターに尽力したいと考えております。御迷惑をお掛けするとは思いますが、よろしくお願いいたします。

専攻医



内科専攻医 竹中 宏幸

はじめまして。JCHO中京病院で初期研修を修了し、この4月から名古屋医療センターで勤務させていただくことになりました。竹中宏幸と申します。新しい職場で不慣れなことも多く何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



内科専攻医 伊藤 佑充

4月より内科専攻医としてお世話になります、伊藤佑充と申します。不慣れな点もございますが、患者様に寄り添う診療を心掛け、地域の皆様に貢献できるよう、精一杯努力いたします。よろしくお願いいたします。

**専攻医****内科専攻医 佐藤 真利子**

今年度より内科専攻医としてこちらの病院で勤務させていただくことになりました。地域の皆様へ貢献できるよう、精進して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

**皮膚科専攻医 藤田 さゆり**

初めまして。4月から皮膚科で働かせていただきます藤田さゆりと申します。いろいろご迷惑をお掛けすると思いますが、皮膚科として一人前になれるよう努力しますので、ご指導の程よろしく願いいたします。

臨床研修医**臨床研修医 榎尾 彩恵**

初めまして。高知県から来ました榎尾彩恵(かしおさえ)と申します。この名古屋医療センターで医師としての第一歩をふみだすことになり、嬉しく思っています。ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、一生懸命日々精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

**臨床研修医 梶田 脩**

初めまして。研修医1年目の梶田脩と申します。至らない点ばかりでご迷惑をおかけすると思いますが、一日も早く皆様のお役にたてるよう、日々全力で業務に取り組ませていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

**臨床研修医 加藤 万結**

初めまして。研修医1年目の加藤万結と申します。患者さんに寄り添った医療を提供できる医師になりたいと考えています。日々成長できるように努力していきますので、ご指導の程よろしく願いいたします。

**臨床研修医 工藤 栞奈**

初めまして。名古屋大学卒の工藤栞奈と申します。出身は青森県です。まだまだ未熟でご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、笑顔を忘れずに一生懸命患者さんと向き合っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

**臨床研修医 左合 はるな**

初めまして。左合はるなと申します。4月より名古屋医療センターで、皆様と一緒に働くことを嬉しく思います。色々な先生やコメディカルの方と関わることを楽しみにしています。至らない点も多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、2年間精進しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**臨床研修医 多湖 真帆里**

初めまして。4月より研修医1年目となりました多湖 真帆里と申します。三重県桑名市出身です。好きなことは映画鑑賞と旅行で、新しい趣味も見つけていきたいと思っています。日々出来ることを増やしていきますので、どうかよろしくお願い致します。

**臨床研修医 龍見 東樹**

初めまして、三重大学から来ました龍見と申します。名古屋市出身です。医師として責任を持って、患者さんに接していきます。頼りにしてもらえよう日々努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

**臨床研修医 田中 邦佳**

初めまして。愛知県出身の田中邦佳と申します。大学では空手道部に所属しておりました。ご迷惑をおかけしてしまうことも多いと思いますが、一日でも早くお役にたてるように努力していきたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。

**臨床研修医 田中 智規**

初めまして。4月より医師としてお世話になっております田中智規と申します。医師として少しでも早く、皆様のお役に立てるよう、全力を尽くして参ります。ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、ご指導の程よろしく願い致します。

**臨床研修医 近澤 公彦**

初めまして。4月より初期研修医としてお世話になります近澤公彦と申します。患者様に寄り添う医療を目指して、日々精進していきたいと思っております。至らない点も多いかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

**臨床研修医 都築 侑介**

4月より初期研修医としてお世話になります都築侑介と申します。愛知医科大学出身です。未熟ですができることから精一杯頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

**臨床研修医 中村 寛美**

初めまして。4月から初期研修医としてお世話になっております中村寛美と申します。名古屋医療センターで医師としての第一歩を踏み出すことができ、大変嬉しく思っております。他者への尊敬と感謝の気持ちを大切に、医師として成長できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

**臨床研修医 日比 麻理子**

4月より研修医としてお世話になります、日比麻理子と申します。これから名古屋医療センターのチームの一員として、患者さんのお力になれるよう、一生懸命努力し、成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

**臨床研修医 三瀬 綾乃**

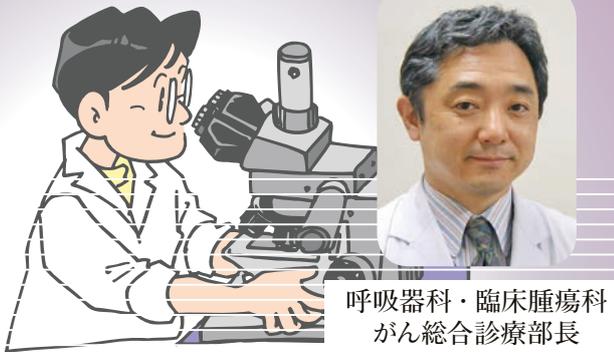
初めまして、三瀬綾乃と申します。スタッフの方々や患者さんから多くのことを学ばせていただき、成長できる2年間にしていきたいです。一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

**歯科臨床研修医 松井 遥**

初めまして。大阪市出身の松井 遥です。歯科医師としての第一歩を、この病院で踏み出せることを光栄に思います。まだ至らない点も多くあるかと思いますが、全力で業務に取り組み、たくさん学んでいこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

医療最前線

肺がんの免疫療法のお話



呼吸器科・臨床腫瘍科
がん総合診療部長
坂 英雄

肺がんの治療には、手術、放射線、薬物療法の3つの大きな柱があります。手術は、病巣を取り切ることができれば根治が望めます。また、放射線が当たる範囲にがんが留まっていれば、高い効果が期待できます。でも、遠くに転移があるような場合は、あちらこちらに広がったがん細胞を相手にするために、薬の治療が選ばれることが普通です。さらに、この3つとは別に、症状を和らげる緩和療法は、どんな時期のどんな治療法とでも合わせて行っていく必要があります。

最近、薬物療法の中で、従来の「抗がん薬」療法に加えて、分子標的薬や、免疫チェックポイント阻害

がん免疫療法とは



	免疫を増強する 物質や細胞を投与する		免疫の抑制を解除する
体内で 免疫を増強 する	能動免疫 療法	非特異的免疫賦活薬	免疫チェックポイント 阻害薬
		サイトカイン療法	
		がんワクチン療法 樹状細胞療法	
体外で増や した免疫細胞や 抗体を入れ る	養子免疫 療法	非特異的リンパ球療法 がん抗原特異的T細胞療法	—
		抗体療法	

図1

KEYNOTE-024 研究

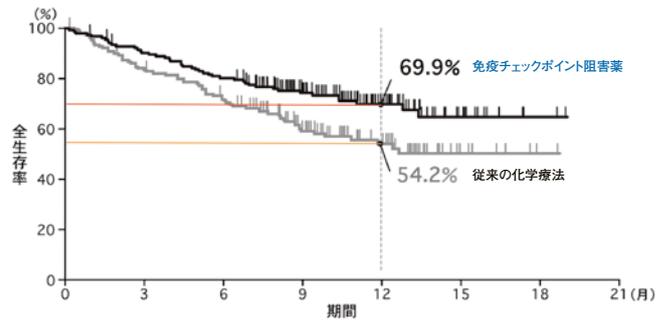


図2

薬を用いた治療が、多く行われるようになってきました。免疫療法には、体の免疫力を高めて、がんを押さえる、「アクセル型」の治療法が従来から、研究されましたが、科学的に証明された有効性を示す治療法は無く、長らく、免疫療法はがんには効かないと思われてきました(図1)。今でも、臨床研究以外で行うことは勧められません。また、健康保険も適応されませんので、高額な自費診療となってしまいます。「体の外にリンパ球を取り出して、免疫力を付けて、体内に戻す」というタイプの免疫療法は、高額なだけで、効果は期待できません。

一方、この数年で研究が大きく進んだ「免疫チェックポイント阻害薬」は、免疫が、がんによって抑えられている状態を解除して、本来の免疫力をがんにも効かせる治療法で、「ブレーキ解除型」といえます(図1)。こうした発想で開発された薬剤を用いると、副作用が少なく、一定の条件の下では、従来の「抗がん薬」に比べて、より長生きできることが証明されました(図2)。そのため、肺がんでは、2015年12月17日から健康保険での使用が認可され、広く用いられるようになりました。

肺がんの薬物療法は、この「免疫チェックポイント阻害薬」を中心に、多くの研究が進行中で、今年から来年にかけて、標準的な治療法が大きく変わることが予想されます。最新の治療法の進歩を早く患者さんに届けられるように務めたいと考えています。



院長 林 信彦

林整形外科クリニック

 当院は平成7年、名古屋市西区で整形外科として開業しました。mozoワンダーシティのすぐ近くで老若男女様々な患者さんが来院されます。肩・腰・膝の痛みや手足の怪我などはもちろん、子供特有の病気を扱う小児整形外科も得意としています。また手術後の痛みや動きの改善を図るためにリハビリに通ってみえる方も多くいらっしゃいます。名古屋医療センターには骨折や人工関節の手術でよくお世話になっています。



当院は名古屋市の北部に位置していますが、名古屋医療センターには市バス1本で行くことができ便利です。今後は金鯰メディネットをさらに活用して連携を深めていくとともに、引き続き地域のかかりつけ医として頑張っていく所存です。

林整形外科クリニック

所在地：〒452-0809 名古屋市西区花原町16-4

電話：052-505-7535

F A X：052-505-8941

診療科目：整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・外科

U R L：http://www.hayashi-seikei-cl.com/

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後4:00~7:00	○	○	×	○	○	×

休診日：水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

【アクセス】市バス山田東中学校駅から徒歩5分



院長 金森 雅彦

社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院

脳血管疾患発症直後や大腿骨頸部骨折の術後等の患者さんを対象として365日集中的なリハビリテーションを行う病院です。患者さんの状態に応じて1日あたり最大で3時間のリハビリテーションを提供しています。

回復期リハビリテーション病棟に従事する療法士は61名配置されています。

医師をはじめとして、看護師、介護福祉士、管理栄養士、薬剤師、等多職種でチーム一丸となり患者さんの日常生活能力の向上、早期在宅復帰、社会復帰を目指しています。



通所リハビリテーションにも療法士を専門で5名配置し、在宅生活を積極的に支援します。名古屋医療センターをはじめとした急性期から病院を退院した後の在宅などの生活期にかけて橋渡しとなるような施設を目指します。

社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院

所在地：〒462-0802 名古屋市北区上飯田北町3-57

電話：052-916-3681

診療科目：リハビリテーション科、内科、神経内科

U R L：http://www.kami2-hp.jp/

外来診療担当表

Table of medical services including internal medicine (消化器, 呼吸器, 循環器, 内分泌, 膠原病内科, 腎臓内科, 神経内科, 総合内科), ophthalmology, otolaryngology, and surgery.

Table of medical services including orthopedics, dermatology, pediatrics, ophthalmology, otolaryngology, eye, obstetrics, urology, hematology, and specialized external medicine.

※ストマ外来…火曜1・2・3・4週 ※中山智医師、萩原医師の心臓血管外科は特別診察室で行います。 ※末梢血管外科は完全予約制です(13:30～15:30)。

※初診は月・水・木・金のみ、予約制となります。 ※初診は月・水・木・金のみ、予約制となります。